



いっぽん!

第10号

■発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会 ■発行責任者 伊藤文博 ■連絡先 TEL025-562-3988
■公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com> ■E-mail f-ito@fumihiro-ito.com



会派：新国会
所属委員会：
文教民生常任委員会
地域情報化調査推進
特別委員会

大変に暑い日が続きます。地球温暖化の影響を思うと心配は尽きません。子々孫々に良い環境を残してやることは我々の務めです。地球環境に配慮した生活習慣を身につけたいものです。

また、住みよい糸魚川市を造り上げて子孫に受け継いでいくことも同様です。

さて、平成20年度予算も三月議会で慎重に審議されて成立いたしました。

議長を除く全議員で構成された「予算審査特別委員会」では、松尾委員長とのコンビで副委員長を務めさせていただきました。

4日間にわたり活発な論議が展開され、米田市政最終年度の市長の施政方針を問ひ質しながら予算の審議が行われました。

質疑の原則では、「意見は質問の趣旨を伝えるための最小限度にとどめて質問しなければならぬ」となっています。しかし、いつものことではありませんが、持論の展開が長くなったり、井戸端会議のように止めどもなく意見を述べられどことが質問から分かれぬなってしまうなど、自分

の意図するところを簡潔に分かりやすい言葉で伝えることの難しさを感じました。

4月から後期高齢者医療制度が始まり、市民の不安も大きいものがあると感じていますが、国が定め、国が制度運用の改善を検討している現在では動向を見守り、その結果を受けて、糸魚川市として市民の安全安心の確保のために何をなさなければならぬかを検討していきたいと思っています。

議会にも様々な説明がありますが、複雑な制度で(元々国保自体も難しいのですが)全容がなかなかつかみにくいとあります。

糸魚川市は総体的に言えば保険料が下がることは分かっていますが、個々の事例についての検証を出来るところまで行っていませんし、今後の国の改善処置によりそれも変わっていきます。

地域情報化の問題については、後段で状況を報告いたしますが、一応の方向性が見えてきました。しかし、課題も多く、今後の市当局の対応が益々重要になっていきます。

予算審査特別委員会



伊藤副委員長 松尾委員長

平成20年6月議会

糸魚川市議会6月定例会議が6月2日から18日までの日程で、議案審査、一般質問が行われました。

◆市長挨拶に関連して

I世界ジオパーク認定にむけての取り組み状況について

【市長】(要約)

今年度から、企画財政課にジオパーク推進室を設置し、ユニセフの世界ジオパークをめざした特別展の開催やジオパークガイドの養成に着手しており、市民主体での活動を目的にジオパーク推進市民の会も設立されております。

また、国内の動きとして、世界ジオパークへの国内の選定機関である、日本ジオパーク委員会が設立され、京都大学総長でもある尾池和夫氏が委員長に就かれております。

世界ジオパーク認定への門戸が開かれたものと歓迎するとともに、認定に向け全力を尽くして参ります。さらに、6月22日からドイツで

開催されるユネスコ国際ジオパーク会議に私(市長)も参加し、日本ジオパーク連絡協議会長として当市の地質遺産をはじめ、日本国内の世界ジオパーク候補地の価値について、うたえて参ります。

世界ジオパークの目的は、優れた地質遺産を

- ① 保護して後世に伝えること
- ② 教育と研究に活用すること
- ③ ジオツーリズム(地質見学旅行)による地域振興に活用することの3点です。

世界ジオパーク認定を地域おこしの起爆剤として活かしていくことが、糸魚川市の最大の目的となります。

糸魚川ジオパークの特徴

- ① さかいめ
糸魚川から静岡にいたる大断層糸魚川-静岡構造線により日本列島は大きく東北日本と西南日本に分けられます
- ② 海あり山あり2769mの標高



差

- ③ ヒスイから焼山まで5億年の時代差
 - ・ ヒスイ 5億年前
 - ・ 石灰石 アンモナイト 3億年前
 - ・ 焼山 3千年前
- ④ 多種多様な岩石がある
- ⑤ 大地と人間の物語がある

【市民の意見】

糸魚川市は、フォッサマグナやヒスイに代表されるように、地質学的に貴重な遺産に恵まれています。近年「地質版の世界遺産」と言われるユネスコの世界ジオパークが注目され、糸魚川市でも認定に向けての取り組みが行われています。

世界ジオパークに認定されると、研究や観光を目的に、今まで以上に多くの人々が糸魚川を訪れることになるでしょう。突然の変化に戸惑うことのないように、来客される方々を受け入れるための体制づくりを、認定の前から準備していく必要があると思います。

また、国内の他の候補地に先がけて世界ジオパークに認定されるためには、住民と行政が一体となって誘致活動を進めていくことが大切です。フォッサマグナミュージアムや青海自然史博物館を訪れるなどして身近な地域への関心を高めることで、地質のまち糸魚川を盛り上げていきたいと思えます。

糸魚川市青海地域 20代男性

II 情報基盤整備について

【市長】(要約)

情報基盤整備につきましては、本年3月、上越ケーブルビジョン株式会社(JCV)から民設民営方式の新提案をいただき、4月22日の地域情報化調査推進特別委員会において説明を受け、委員からは賛同のご意見もいただいているところであります。新提案につきましては、市にとりまして大変有利な提案と思えますが、内容につきましては、いくつかの課題もあり、十分精査をし、多くの市民の方から加入していただけるよう、実施に向けて検討して参りたいと考えております。



- JCVの条件とは、
- ① 総事業費23億円の25%の補助金を確保する
- ② 加入率60%を確保するという2点です。

「地域情報化調査推進特別委員会」で審議を重ね、JCVの新提案を受けてようやく方向性が決まりました。この提案により、ケーブルテレビでの情報基盤整備の方向へ進むことが決まったわけですが、市長の言葉のとおり課題も幾つかあります。

この二つの条件をクリアすること、特に②は簡単なことではないでしょう。

又、その前提となる条件(料金)面の提示もその後の特別委員会ではなされましたが、加入率を上げるためには市民の側から見た「費用対効果」II「ケーブルテレビに加入する」とどのようないことがあるのか」が明らかにされなければなりません。

そのためには、市役所内に専門の部署をつくる必要があります。

III 本年度の公共事業関係予算の内示状況について

市営事業につきましては、23件で概算28億5千万円の内示があり、心配した道路特定財源暫定税率の一時廃止の影響はなかったそうです。

県営事業については、33件で概算70億2千万円、国の直轄事業は、8件で概算57億円、その他、土地改良区と森林組合は、5件で概算9千万円、新幹線整備は、長野・金沢間で906億円の内示となっています。



六月議会の一般質問

I. 合併の評価と、3地域のバランスの取れた活性化について

合併後、3年を経過し、市民は合併に対して様々な評価をしているが、その評価には3地域の市民間で隔たりがあるように感じます。

合併効果の評価については、合併前と現在を比較することは感覚的には容易ですが、合併した現在と合併しなかった場合どうなっていたかについての比較は市民レベルの情報分析では非常に困難です。

ここは、しっかりとした分析をして市民に情報提供していく必要があります。また、米田市政の4年間も最後の1年となって締めくくりに迎える、**施策を検証・決定・展開**するには、合併後の市政に対する評価が具体的に示されていなければなりません。

合併した以上、地域間格差を是正し、平等な市民生活をおくれる生活基盤づくりを進め、ソフト面を充実して活性化を図っていかねばなりません。



しかし、市民の負担と提供される市民サービス間に大きな隔たりがあつてはなりません。

3地域での市税と投資的経費のバランス格差についての解消は、地域活性化、市民参画についての市民意識において重要な要素となります。

①合併評価として、合併効果を具体的にどのよう分析しているか。

②3地域別の市税収入と投資的経費は、平成19年度の実績と、平成20年度予算においてどのようになっているか。

③地域意識がまだまだ強い中で、市政に対する不信感を解消し、一体感を醸成していかねばなりません。
収入と支出バランスにおける地域間格差を是正する又は縮小するための政策として何か講じて来たか、又は、計画しているか。

④地域活性化事業として、地域活性化のためにその地域の住民税の内、一定割合による金額を上限とする、地域自治組織やコミュニティーによる地域活性化事業への補助金制度を導入したらどうか

ポイント①
□合併は過去形ではなく、現在進行中です。

■合併効果を分析するためにどのようなデータを取っているか。

■分析に重要なデータである市税の地域別金額が抽出できないシステムになっている。

□評価の指標となるデータが取れないというが、企業であれば、品質管理や原価管理において、問題点を抽出できるシステムを構築するが、考え方に不足があつたのではないか。

■合併当初には、合併したのだから地域別データは必要ないという考え方であつた。

ポイント②
□「合併効果」についての市民の感情・感覚は大切である。市民の「合併してどうだったか」という考えをどのように捉えているか。

合併した現状と、合併しなかったらどのようなになっていたかの比較はされ具体的な指標を示すことができているか。

■地域懇談会などで色々な声を聞いている。合併の効果を具体的に現せと市長より指示を受けているが、担当者は必要なデータを示すのに苦労している。

ポイント③
□「合併したら良くなるか」「良くはならない、しかし、合併しないともっと悪くなる」という、国の三位一体の改革を前に苦渋の選択をしたといえます。

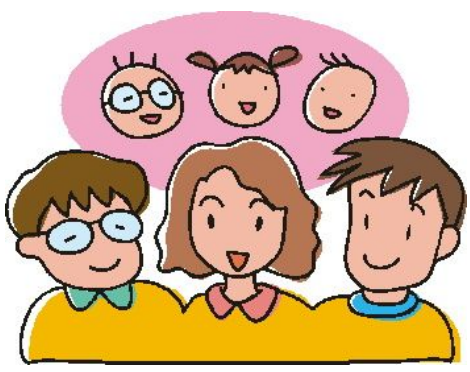
しかし、少しでも良い状態を保つために、少しでも前進するため、合併後の新糸魚川市づくりを行っていかねばなりません。

今あるのは合併して良かったと言える新糸魚川市を造り上げるという責任です。

そのためには、「3地域の特色ある活性化」を目指していかねばなりません。

地域の進んでいる部分を先進的に伸ばしていったモデル化し、いづれ全市域へ展開する。

格差は徐々に是正していくような施策が必要です。



II 地域情報化で糸魚川市が市民に提供するものは何か

地域情報化のハード面について、糸魚川市でもいよいよ方向性が定まり、具体的なところへ検討が入ってきました。

事業費の25%の補助金と加入率60%を確保することをケーブルテレビ実現の必要条件とするJCVの提案を是として、CATVの実現に努力すると表明した市長には、市民の理解を得て加入率60%を確保する責任があります。

糸魚川市が主体となっており、市民の加入を促進しなければなりません。が、それには、市民にとっての費用対効果を明らかにすることが不可欠であり、もう猶予はありません。市民にどのようなサービスを提供するのか、どのような社会を目指しているのかを明確に示さなければなりません。



八尾市のCATVスタジオ

ポイント①

事業費の25%の補助金と加入率60%を確保することをケーブルテレビ実現の必要条件とするJCVの提案を是として、CATVの実現に努力すると表明した市長には、市民の理解を得て加入率60%を確保する責任がある。

今後のスケジュールは、非常にタイトです。

情報基盤整備の補助金申請に8月に手を挙げる、12月に申請手続きを行う。

ポイント②

市民への情報提供と加入意向の確認はいつまでに？

7月の特別委員会終了後に市民への情報提供と加入意向の確認を行いたい。

ポイント③

なぜこれまで庁内論議が進まなかったか。

職員は情報化について切実ではなく、日常業務で困っていないために庁内論議が進まなかった。自分の仕事は増やしたくない公務員の性格が出ている。

ポイント④

補助金について全て国・県の補助金で確保するのか、市としての負担も視野に入れるのか。

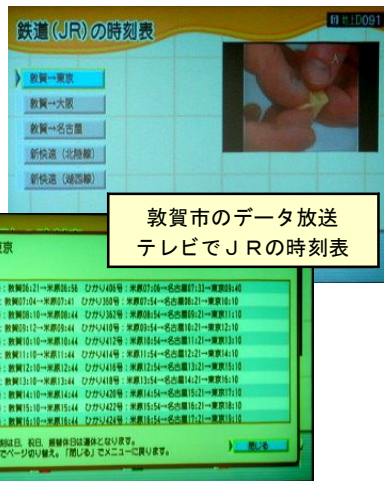
JCVの条件をクリアできなかった場合はどうするのか。国・県の補助で不足の場合は、合併特例債などの有利な形での支出

も視野に入れる。

特別委員会でも、条件をクリアできなかった場合は行政インフラのみ整備するということがあったが、行政インフラ整備でかかる費用をケーブルテレビに投入することも含めて検討したい。

ポイント⑤

これまでソフト面の検討はインターネットが主だったと思うが、ケーブルテレビで何が出来るかについて検討する必要がある。デジタル放送の双方向通信の利用など、何が出来るか知らなければ、計画の建てようもない。



ケーブルテレビで何が出来るか職員研修を行い、7月一杯に情報化アクションプランを各課から提出させる。

などが要点でした。情報化では、JCVの条件をクリアするために、市独自の支出も考えているということ。

しかし、市民にとっての費用対効果を提示できるようにするために、少々時間が掛かりそうなことが気がかりなまま、一般質問を終了しました。

編集後記

暑い日が続いております。今年の夏休みは北京オリンピックTV観戦で日本勢の活躍に一喜一憂しています。

両親が能生小泊出身の水泳背泳ぎ中村礼子選手が見事銅メダル!!! 見事な二大会連続金メダル北島康介選手の祖父が新潟県出身にビックリ。

更なる日本選手の活躍に期待します。「加油」(がんばれ)

さて、我々糸魚川の将来未来は？ 求められているもの、求めるものは？

「すべての世代に住みよい街、魅力ある街」である事。30代地元企業採用担当者談に共感しました。

現在進行形の世界ジオパーク、ケーブルテレビもその一つであり、内容の充実に期待すると同時に、私も含め市民一人一人が考え、意見し市民参画しましょう。

今、気づかされたのは「最後は市民の一人一人の思いが街づくりを決める。」ということ。編集委員